

実写映画の経済的成功を支える要因

1230533 馬見塚一樹

指導教員 金東勲

研究背景

アニメーションをアニメーション映画として製作するのではなく、実写化する事が多い近年の日本映画産業。しかし、実写映画は SNS で消費者からの批判的な意見が多い。それなのにも関わらず、実写映画は経済的に成功を収めている。

研究目的

本研究は、SNS において批判的な意見の多い実写映画の興行収益に、影響を与えうる要因はどのような影響を与えているのかを分析することを目的とした。

研究方法

本研究は従属変数を興行収益、説明変数を消費者の好感度、主役の認知度、原作の認知度とし、統制変数を配給会社、公開日、年間観客動員数、実写化までにかかる期間を用いた回帰分析で、仮説検定を実施する。

分析結果

説明変数である消費者の好感度、主役の認知度、原作の認知度の 3 つに加え、統制変数の配給会社が、実写映画の興行収益に正の影響を与えている。原作の認知度は、消費者の好感度に負の影響を与えるため、原作の認知度が高すぎることは、あまり好ましくない。

考察・結論

実写映画の興行収益に、影響を与えうる要因はどのような影響を与えているのかを分析することを目的として、実写映画の情報をを用いて回帰分析を行った結果、4 つの要因が、実写映画の興行収益に正の影響を与えていることがわかった。さらに、原作の認知度と消費者の好感度の関係についても述べている。最後に主役の認知度は他のジャンルの映画においても、興行収益に正の影響を与えるだろうということについて論じた。